

海の花園を行く

北上する黒潮は大きく分岐して、豊後水道に入ってきます。その玄関に当たる蒲江町の海中公園はイシサンゴ類で特徴づけられるサンゴ礁とそこに生活する亜熱帯性の珍しく、また美しい海産動物に出会えるところです。イシサンゴの仲間のクシハダミドリイシ、イボサンゴ、キクメイシなどが特に多くみられ、ウミトサカ、イボヤギの仲間が色うつくしく群棲しています。

この中をソラスズメダイ、チョウチョウウオの仲間が泳ぐ様は、現実から切り離されたような夢の世界を見せてくれます。

特に屋形島周辺はサンゴ類の種類も豊富で高速海中探勝船で海底が観覧できます。深島は蒲江港よりおよそ10キロ、県境に近い、県最南端の島で周囲を切り立った海食崖に囲まれ、イシサンゴ類の発達がよく、海の深さによりサンゴや海草の棲み分けがみられます。

大分生態水族館ではこの海域で40種を超えるイシサンゴ類の生息を確認しています。



キサンゴ科の珍しく浅いところに群棲するイボヤギ(左)と緻密で繊細な造形美のイバラカンザシ(右)



これでも動物です、オオウグウミヒドラの仲間



海トサカ類の花園



紅色も鮮やかなアカトゲトサカ

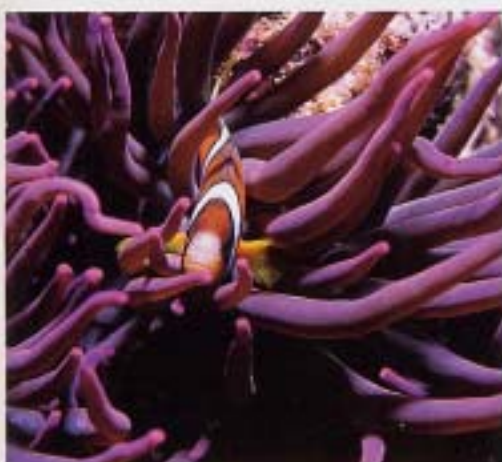


石サンゴのテーブルに潜むガンガゼ(中央)



ミドリイシサンゴ類を優占とするテーブルサンゴ

イソギンチャクの触手の中でまどろむクマノミ



キクメイシの中に陣取ったミナミギンボ

29 ●



鮮やかな色彩のチョウチョウウオの仲間



足ばかりに見えるムギワラエビ



海草のちぎれたものかと間違われそうなニシキフウライウオ